

■本学教員の新型コロナウイルス感染者の発生について

県立広島大学の教員1名が新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。

【当該教員の概要】

- (1) 居住地：広島市
- (2) 症状：発熱，咳，鼻水，息苦しさ
- (3) 状況：6月2日（木）にPCR検査により陽性であることが判明
- (4) 他事例との関連：保健所により調査中
- (5) 濃厚接触者等（※）：学内には濃厚接触者なし

【感染防止のための学内の取組】

- 本法人では，教職員へ基本的な感染防止対策（3密の回避，マスク着用，手洗い・咳エチケットなど），テレワークの積極的な活用，PCR検査の積極的活用などの感染しない感染させない行動に心がけるよう注意喚起を実施しています。
- また，広島県の「集中対策の終了及び感染再拡大の防止に向けた取組について（R4.3.4通知）」を踏まえ，まん延防止重点措置を実施している都道府県との往来の最大限自粛や，3回目を含むワクチンの積極的な接種を促すなど基本的な感染防止の徹底に取り組んでいます。

今後も，関係機関と緊密な連携を取りながら，感染防止に万全を期してまいります。
本人及び関係者の人権尊重と，個人情報保護に十分な御配慮をお願いいたします。

※「濃厚接触者等」の定義は，新型コロナウイルス感染拡大防止のための
広島県の対処方針（令和3年12月1日改正）において次のとおり示されています。
「濃厚接触者等」…感染者と感染可能期間に同一空間にいた者